

先進地から学ぶ



議会広報特別委員会

委員長 鵜瀬 和博

読んでもらえる議会だより

【研修目的と日程】

全国町村議会広報コンクールにて入選等を受賞している広島県坂町の議会だよりに対する取り組みを平成20年9月2日から3日まで調査・研修を実施した。

【研修内容と所見】

坂町の議会だよりは、住民に読んでもらえるような工夫をしていた。
「子どもたちの目から見た議会」：町内3小学校の総合学習の一環として議会傍聴し、感想文を掲載。

「議会クイズ」：クイズ正解者の中から10人に図書券を郵送。議会への要望・意見等をクイズとともに募集。
「まちの声」「ちよつときになる」：寄せられた要望、意見に対し回答を掲載。

当委員会としても本市議会の活動状況を「いき議会だより」を通してできるだけ早く、住民へ少しでもわかりやすくお伝えし、読んでもらえるようにさらに工夫・編集していきたい。



坂町役場前にて



研修の様子



講師の小西砂千夫氏



大村市にて



長崎県市議会議員研修会

去る8月12日、大村市において、県下13市議会から約240人の参加により長崎県市議会議員研修会が開催された。

講師の小西砂千夫氏は関西学院大学大学院教授であり、総務省「地方行政ビジョン委員会」委員長や「市町村合併研究会」座長など数々の委員を歴任されている。

今回は「今後の地方財政と地方自治の動向について」歳出・歳入一体改革と今後の地方財政計画の推移や国の動向、特に新しく創設された地方再生対策費4千億円の内容等講演された。

地方財政が厳しい中、今後さらに議会の監視体制の強化が必要とされている。